

第2回第三者評価 課題評価コメント一覧

参考資料1-1

<b>基本目標 I</b> <b>あらゆる分野における男女共同参画</b>	基本目標平均点
	3.1

1 社会・地域における様々な分野での女性活躍を推進する環境づくり		課題平均点
例示 ・施策（1）1 審議会等における男女それぞれの構成比の適正化が課題であり、より抜本的な取組みが必要 ・施策（3）12 13 安全・防災対策において引き続き女性の視点を取り入れる体制が必要		2.9
委員 A	例示に同じ	
委員 B	例示に同じ	
委員 C	例示に同じ	
委員 D	・施策（1）1 審議会等における男女それぞれの構成比の適正化が課題であり、すべての審議会等において達成できていないことから早急な対応が必要ではないかと感じます。 ・施策（2）5④ オンラインなどを活用するなど活動の支援や各種講座の充実を図ることが出来ていると思います。 ・施策（2）9、10 高齢者の単身世帯が増えている時代です。地域で活躍できる場の提供は必要なことと思います。非対面型よりも、対面型のほうが活動を促し筋力低下につながり、自立に結び付くと思います。 ・施策（3）例示に同じ	
委員 E	施策（3）12では、女性消防団員の採用により、より広い視点を取り入れられるよう期待する。	
委員 F	・事業項目1について、達成できていない理由を検証し、改善につなげる動きがないことは永遠に課題のままであろう。人材リストを作ったのならその活用方法を検討すべき。 ・施策（2）において、事業項目5①～③、6、7については、単に講座を実施したことが評価の対象になるのではなく、それが男女共同参画とどのように関係しているのかが問われなければならない。例えば、男女共同参画の文脈で古くから課題とされている「高齢男性の地域社会への参加」を促進するような講座の実施や参加の働きかけなどがあれば、そうしたことをもっと明記すべき。 ・そうした意味では、施策（3）は男女共同参画との関係性が明確であり、もっと評価が高くてよいと考える。	
委員 G	・施策（1）1 （各々の審議会等の取組に依るところが大きと思いますが） 男女の構成比の適正化のため、何が課題か。分析や評価をしていただきながら、具体的な働き掛けや具体的な検討が必要だと思います。 ・施策（2）5①～③ 取組内容や課題について詳細に自己評価されており、支援状況が良く解りました。今後も地域との連携など、更なる取組支援をお願いします。	
委員 H	審議会への女性の参加の促進は、市の男女共同参画において、大変重要な課題であるが、現状ではほぼ進んでいない。女性への就任依頼を増やすなど、所管課としても働きかけをしていく必要があると考える	
委員 I	例示に同じ	
委員 J	(例示に追加したうえで) (1)ある程度の前進はあるものの目標値の構成比率40%以上に達成できていないため課題が残る (2)一定の努力がみられる (3)女性の視点が取り入れられつつある	
委員 K	審議会等における男女の構成比の適正化が依然として課題であり、達成するために公募市民の割合を増やすなど、考え方を抜本的に変えていただきたい。	

2 労働場における男女共同参画		課題平均点
例示 ・施策（1）女性の就職支援講座 新たな取組の展開・継続的な実施ができている ・施策（2）（3） 女性の指導的立場への登用や管理職割合は増加しているが、職場での女性の活躍推進は依然課題である		3.0
委員 A	例示に同じ	
委員 B	例示に同じ	
委員 C	女性もキャリアを持ち、男性も親の役割を果たすために、社会が変わるべきという危機感をもっと持つべき。育休の取得率が上がっても、上司は育休の意味をどれだけ理解しているのか？休まずに働き続ける男性を求める思考を持っていないか？そういったことを顧みる必要がある。	
委員 D	・施策（1）例示に同じ ・施策（2）（3）女性の指導的立場への登用や管理職の割合は増加しているようですが、目標値には届いてなく、過去5年の上昇率を考ても更なる対策が必要だと感じます。まずは市職員から男女共同参画を推進させてほしいと思います。	
委員 E	例示に同じ	
委員 F	・施策（1）については、14④において新たな取組もみられており、もう少し高い評価でもよいと考える。 ・一方で、産業振興課所管の各取組については、事業項目ごとに対応する講座が実施されているのかが不明で、その効果についても言及がないことから、より詳細な報告を求めたい。	
委員 G	例示に同じとさせていただきたく思いますが、（1）（2）について、取組が見えづらく、評価をすることに少し難しさを感じました。	
委員 H	市職員の中での男女共同参画、女性のキャリア支援は、事業主としての市にとって重要な課題であるが、現時点では十分に支援が届いていないと考えられる。	
委員 I	(1) でパンフレット配布・周知を評価しているが、(2) (3) の割合が課題なのは、広報・周知方法に工夫が必要と思われる。	
委員 J	(例示に追加したうえで) (1)女性の就職支援の新しい取り組みがなされつつある (2)一定の前進が見られる (3)目標値には達していないものの一定の取り組みが見られる	
委員 K	1. 産業振興課さんは複数の項目に対して「評価の理由」に同じコメントが書かれているが、そもそも項目を分ける必要があったのか？もしくはそれぞれの項目に対しての正しい評価をしていただきたい。 2. 女性の就職支援、登用など増加していると思うが、スピードをあげていただきたい。	

第2回第三者評価 課題評価コメント一覧

参考資料1-1

3 教育場における男女共同参画		課題平均点
例示	・教育現場で、性教育、アンコンシャス・バイアスについて等 意識啓発が推進されている	3.2
委員 A	・教育現場で、性教育、アンコンシャス・バイアスについて等 意識啓発が推進されているが、世の中の変化を取り入れながら継続することが望ましい	
委員 B	例示に同じ	
委員 C	講座等、一方的に聞くだけの教育ではなく、ジェンダーについて様々な世代の方と直接対話ができるような、性差別やセクハラ、結婚、子育て、性教育など日々の「モヤモヤ」を気軽に安全に話せる場作り、お互いの意見を否定せず尊重するというルールの場作りを、教育の場で取り入れる仕組みが必要。モヤモヤしながら人に聞けないことに対して、自分だけの問題ではないと気づき、行動につながっていくこと、対話することで、他人を信頼でき自己肯定感の向上にもつながると考えられる。	
委員 D	例示に同じ	
委員 E	例示に同じ	
委員 F	・計画に対して着実に事業が実施されている。 ・20③に「アンコンシャス・バイアス」を課題として認識していることが記載されている点について、社会的な課題の認識として非常に優れていると考える。 ・21より「人権課題」に「女性」を位置づけていると見受けられるが、現在の社会課題に合わせ、これを「ジェンダー平等」にまで広げていけるとなお意義があると思われる。	
委員 G	教育現場での意識啓発は非常に意義のある取組だと思えます。引き続き、継続していただきたいです。	
委員 H	男女共同参画の推進とは、やや異なる趣旨の事業が見受けられる。学校において、教員・児童生徒の男女共同参画について、理解を含め、事業を作っていくていただきたい	
委員 I	例示に同じ	
委員 J	(例示に追加した上で) (1)学校教育内で一定の成果が出ている	
委員 K	教育現場での意識啓発は大切なので、今後も推進していただきたい。	

4 市民協働における男女共同参画		課題平均点
例示	・22-24 男女共同参画センターの男性利用者の増加、市民活動センター登録団体増加等について評価できる ・男女共同参画センターと市民活動センターの連携が必要	3.4
委員 A	1点目は例示に同じ 2点目・男女共同参画センターの運営については、取り組みが進んでいる市民活動センターに倣って改善が必要	
委員 B	例示に同じ	
委員 C	例示に同じ	
委員 D	例示に同じ	
委員 E	24について評価できる	
委員 F	・計画に対しては着実に施策が進行していると言える。 ・しかしながら、男女共同参画計画という観点からすれば、すべての市民活動を対象とするのではなく、あくまでも「男女共同参画社会の形成に資する市民活動」や「その市民活動を通じて男女共同参画が推進される活動」が対象となるべき。	
委員 G	例示に同じ	
委員 H	市民活動への支援は進められているが、男女共同参画に関する講座や関係会議への参加促進は、より一層の前進を期待したい。	
委員 I	例示に同じ	
委員 J	(例示に追加した上で) (1)どの項目もかなりの前進が見られる	
委員 K	せっかく女性センターから男女共同参画センター、フューエルに名称変更したのに、成果がでていない印象がある。引き続き、男性利用者の増加、魅力的な講座の企画等、努力していただきたい。また、フューエルとプラッツとの住み分け、連携が必要である。	

5 国際社会への貢献		課題平均点
例示	・27-28 在住外国人の日本語学習者が増加していることに加え、学習機会の提供に向けた努力が評価できる	3.1
委員 A	例示に同じ	
委員 B	例示に同じ	
委員 C	例示に同じ	
委員 D	例示に同じ	
委員 E	例示に同じ	
委員 F	・計画に対しては着実に施策が進行していると言える。 ・そもそもの話として、この施策が人権という点で重要な課題であることは論を俟たないが、「男女共同参画」とどう関係してくるのか、男女共同参画計画に位置づける必然性が見えない。	
委員 G	多文化共生の推進拠点を作り、情報提供を行っていること、通訳ボランティアによる相談体制の維持運用は効果の高い評価できる取組だと思えます。	
委員 H	国際化の推進は、特に近年重要な課題となってきた。より充実した事業を求めたい	
委員 I	例示に同じ	
委員 J	(例示に追加した上で) 安定的な取り組みがなされている	
委員 K	例示に同じ	

<b>基本目標Ⅱ</b> <b>ワーク・ライフ・バランスの推進</b>	基本目標平均点
	3.2

1 仕事と生活の両立支援		課題平均点
例示 ・30① 32 33①② 庁内外、ワーク・ライフ・バランス推進への理解促進事業が実施されている ・周知や広報について、より多様な手法によるより多様な手法による取組みが求められる		3.2
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	例示に同じ	
委員F	・事業項目32～33にみられるように、庁内の取組は着実に進んでいるとみることができる。 ・一方で、30の啓発活動については、ただ講座を実施しただけではなく、それがどのような効果をもたらしているか、もしくは少なくとも参加者がどのような属性でどのくらい増減しているかは示していただきたい。	
委員G	ワークライフバランス推進のための好事例や工夫の情報共有など、継続的な発信を期待いたします。	
委員H	多様な広報の手法をつくって頂けるとよいと思います。	
委員I	例示に同じ	
委員J	(例示に追加した上で) (1)庁内で一定の取組みが進められている	
委員K	例示に同じ	

2 子育て支援・介護支援		課題平均点
例示 ・施策(1)36 待機児童の解消 38 学童クラブの充実等、家庭の状況に応じた支援の成果があるが、中学生世代への支援はまだ十分ではない ・施策(2)(3) 経済的に厳しい家庭やひとり親家庭、問題を抱える家庭への支援について、さらなる推進が必要である		3.2
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	・施策(1)については成果がでていようと思う 今後も継続を期待したい。 ・施策(2)39において優遇は良いと思うがたよりのないことを期待する ・施策(3)(4)ともによく活動をしていると思う	
委員F	・この課題については、広範な課題に対して丁寧に対応していることが見受けられる。 ・ライフイベントへの支援は、現代社会において最も住民のニーズが高く、公的な取組の重要性が一段と高まっているジャンルと言える。町の「住みやすさ」とも密接にかかわる課題であり、今後も引き続き、充実した取組を進めていただきたい。	
委員G	・施策(4) 介護予防から福祉サービスまで、様々な取組において、一定の成果が得られていると思います。今後ますます求められる取組支援だと思しますので、長期的スパンで支援体制の維持、充実化を期待いたします。	
委員H	学童保育については、高学年への延長も課題ではないかと思えます。	
委員I	例示に同じ	
委員J	(例示に追加した上で) (1)一定の改善が見られる (2)完全ではないにしろ、ひとり親家庭への支援の充実が図られている (3)工夫が積み重ねられながら、地域での子育て支援ができていっていると思われる (4)概ね一定の取組みがなされている	
委員K	例示に同じ	

<b>基本目標Ⅲ</b> <b>人権が尊重される社会の形成</b>	基本目標平均点
	2.9

1 配偶者等からの暴力の防止		課題平均点
例示	施策（1）51 若年層へのDV防止等の意識啓発は推進できている 施策（2）53・54 関係課との連携等、堅実な取組みが評価できる 施策（1）51 一般向けのDV防止等講座参加者の減少が課題	3.1
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	例示に同じ	
委員F	・極めて重要な課題に対して、着実な取組が行われている。 ・特に庁内の連携、関係機関との連携は重要であるため、引き続き充実した取組の継続を求める。	
委員G	施策（1） （DV防止等の啓発強化月間を設けるなど）働き世代に向けた意識啓発の強化につながる取組を期待いたします。	
委員H	堅実に取り組まれているようであるが、周知の結果として相談が増えていると考えられますので、「減少する」ことを、現時点では目指さなくてもよいように思います	
委員I	例示に同じ	
委員J	（例示に追加した上で） (1)もう一步の改善が課題ではないか (2)相談体制、関係機関との連携は充実している (3)一定の改善が図られている	
委員K	例示に同じ	

2 人権の尊重		課題平均点
例示	・施策（1）DV・児童虐待等 各種相談窓口の周知活動・相談対応が実施されているが、今後は計画以上に積極的な取組みが必要である ・施策（3）（4） 性的マイノリティに関する意識啓発・支援事業が本計画期間内で推進され始めた ・施策（2）ハラスメント防止の意識啓発は形骸的にならないよう、継続的かつ実効性のある取組みが必要である	3.0
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	例示に同じ 全体に啓発活動が行われており、継続を期待する	
委員F	・DV防止とともに重要な課題に対して、着実な取組が行われている。 ・DV防止とともに、決してなくなる課題でもあるため、継続的にこのレベルでの取組が行われることを望む。 ・各種相談員の育成や相談体制の充実についても、相談件数の多少にかかわらず必要な事柄であるとの意識を、庁内全体で共有していただけるとありがたい。	
委員G	例示に同じ	
委員H	現状は維持されているようですが、もう少し目標を前進させるような充実の方策が必要かと思えます	
委員I	例示に同じ	
委員J	（例示に追加した上で） (1)相談体制は十分だが、相談者にさらに寄り添った施策が求められるのではないか (2)引き続き実のある取組みが求められるのではないか (3)一定の前進が見られる (4)社会情勢に鑑み、引き続き取組みが求められるのではないか	
委員K	例示に同じ かつ 現状維持で満足してはいけない	

## 第2回第三者評価 課題評価コメント一覧

参考資料1-3

3 生涯を通じた健康支援		課題平均点
例示	・ライフステージに応じた健康支援は計画通り実施 ・コロナ後からオンラインでの検診や教育事業が推進されている	3.1
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	例示に同じ	
委員F	・大変重要な課題ではあるが、これが男女共同参画とどのように関係するのか、もう少し視点を明確化してほしい。例えば68①であれば女性のスポーツ参加率の向上、68②であれば男性・女性に特有な疾患への対応など、そうした点に力を入れてほしい。	
委員G	・施策68② オンラインによる申込等、受診しやすい検診システムを導入されたことは評価できる有効な取組だと思えます。	
委員H	計画通りに堅実に実施されていることがわかります	
委員I	例示に同じ	
委員J	(例示に追加した上で) (1)健康増進・保持の前向きな推進が見られる	
委員K	例示に同じ	

4 相談体制の充実		課題平均点
例示	70 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発 一部事業が未実施であったが、他部署との連携を図りながら、積極的な意識啓発や周知に努めることが望まれる	2.5
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	例示に同じ	
委員D	例示に同じ	
委員E	自分自身も初めて聞く言葉であるため、リプロダクティブヘルス/ライツの啓発・周知を望む	
委員F	・70①②については、助産師や婦人科を専門とする医師など、SNS等で情報発信を積極的に行う専門家が揃っているため、そうした人を講師としてのイベントや啓発資料の作成などを行えると効果的ではないか。	
委員G	例示に同じ	
委員H	リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、DVなども含めて、他の課題とも連携しながら、啓発を行う必要があると思えますので、他部署との連携を行いながら啓発事業を実施していただきたいと思えます。	
委員I	例示に同じ	
委員J	(例示に追加した上で) (1)相談窓口の一定の取組が見られる	
委員K	例示に同じ	

基本目標Ⅳ 男女共同参画社会づくり		基本目標平均点
		3.0
1 男女共同参画意識の普及・啓発		課題平均点
例示	・広報・啓発・情報収集全般において、目標設定をより明確にし、次に繋がるような実効性のある周知活動が望まれる	3.0
委員A	例示に同じ	
委員B	例示に同じ	
委員C	講座や掲載等、一方的に聞く・見るだけでなく、ジェンダーについて様々な世代の方と直接対話ができるような、性差別やセクハラ、結婚、子育て、性教育など日々の「モヤモヤ」を気軽に安全に話せる場作り、お互いの意見を否定せず尊重するというルールのある場作りを、教育の場で取り入れる仕組みが必要。モヤモヤしながら人に聞けないことに対して、自分だけの問題ではないと気づき、行動につながっていくこと、対話することで、他人を信頼でき自己肯定感の向上にもつながると考えられる。	
委員D	例示に同じ	
委員E	全体的に計画通り活動できているように今後も継続を期待する	
委員F	・計画に対しては着実に事業が進められている。 ・(1)については、男女共同参画についての「啓発」よりも、男女共同参画センターの「広報」に重点を置くべき段階にあると考える。 ・(2)については、「情報の収集・提供」という施策の見出しと「事業項目」が見合っていない。施策の見出しを見合ったものに修正すべきではないか。	
委員G	・広報・啓発活動等は効果や成果が視覚化されにくい分、適切な目的、目標を掲げ、着実な活動が重要だと思います。	
委員H	具体的な指標に基づいて評価を行っていただけるとありがたいです。	
委員I	例示に同じ	
委員J	(例示に追加した上で) (1)(2)計画通りの推進が見られる	
委員K	広報・啓発・情報収集全般において、目標設定をより明確にし、次に繋がるような実効性のある周知活動、組織運営が望まれる	